

彼の長所十八

——南部修太郎氏の印象——

芥川龍之介



一、語学の英露独など出来る事。但どの位よく出来るか知らず。

二、几帳面なる事。手紙を出せば必ず返事をくれるが如き。

三、家庭を愛する事。殊に母堂に篤きが如し。

四、論争に勇なる事。

五、作品の雕琢ちやうたくに熱心なる事。遅筆なるは推敲の屢なるに

依るなり。

六、おのれの作品の評価に謙遜なる事。大抵の作品は「あ

りや駄目だよ」と云う。

七、月評に忠実なる事。

八、半可な通人ぶりや利いた風の贅沢をせざる事。

九、容貌風采共卑しからざる事。

十、精進の志に乏しからざる事。大作をやる気になったり、

読み切りそうもない本を買つたりする如き。

十一、妄に遊蕩せざる事。

十二、視力の好き事。一しよに往来を歩いていると、遠い所の物は代りに見てくれる故、甚便利なり。

十三、絵や音楽にも趣味ある事。但しどちらも大してはわからざる如し。

十四、どこか若々しき所ある事。

十五、皮肉や揚足取りを云わぬ事。

十六、手紙原稿すべて字のわかり好き事。

十七、陸海軍の術語に明き事。少年時代軍人になる志望ありし由。

十八、正直なる事。嘘を云わぬと云う意味にあらず。稀に嘘を云うともその為反つて正直な所がわかるような嘘を云う

彼の長所十八 ——南部修太郎氏の印象——

底本：「大川の水・追憶・本所両国 現代日本のエッセイ」講談社文芸文庫、講談社

1995（平成 7）年 1 月 10 日第 1 刷発行

底本の親本：「芥川龍之介全集 第一～九、一二巻」岩波書店

1977（昭和 52）年 7、9～12 月、1978（昭和 53）年 1～4、7 月発行

入力：向井樹里

校正：砂場清隆

2007 年 2 月 12 日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。